

関常幸 議会報告

第 64 号
2023. 8

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐 2015 番地
TEL 025-777-2245



暑中お見舞い申し上げます

暑い夏「日本国憲法」を考えよう！

憲法は、昭和 22 年に制定・施行されて以来、76 年間 1 回も改正されていない。米国は 27 回、フランス 24 回、ドイツ 62 回、カナダ 18 回と国内外の環境・情勢に合わせて改正するのが普通だ。

新型コロナウイルス感染症の厳しい状況、ウクライナや台湾、北朝鮮情勢の緊迫に伴い、国会の憲法審査会でも、与野党の枠を超え「緊急事態条項」について、活発な議論が展開されている。

関西大学の川田教授は、関東大震災から今年は 100 年。日本で巨大災害は 15 年に一回起きている。平成の約 30 年間で、阪神大震災と東日本大震災が 15 年間隔で起きている、すでに東日本大震災から 12 年経った。今、次の大震災が起こってもおかしくない。三千万人が住んでいる首都で、直下型地震が起きたら、停電は一か月以上続く。インフラや交通のマヒ、あらゆる経済活動がストップする。

大災害が起こってから憲法改正しても間に合わない。憲法に「緊急事態条項」の明記は不可欠。

中国の台湾進攻、北朝鮮のミサイル発射等、安全保障の問題について、憲法 9 条の下で、アメリカに依存して自国を守ることができる時代は、とうに過ぎ去っている。平和憲法で日本は守れない。

日本国憲法に決定的に欠けている国防、「自衛隊」についての規定を盛り込むことは、国民の安全・安心を確保するために不可欠。

直近の NHK（2023 年 5 月）世論調査によれば、「憲法改正」必要有り 35%、必要無し 19%、どちらとも言えない 42%。「憲法 9 条戦争の放棄は」、改正有り 32%、必要なし 30%、どちらとも言えない 34%。（2 年前と憲法改正有りが 2%、9 条改正有りが 4% 増）

台湾・日本有事の危機が叫ばれる中、憲法改正は待ったなし！
憲法改正の「県民集会」が、令和 5 年 9 月 9 日（土）県民会館で、午後 1 時 30 分から開催されます。

講師は、櫻井よしこ氏。演題は、「日本の針路と誇りある国づくり」大勢の皆さんが参加しましょう！！

6月定例議会

(6月5日～19日)



議会初日
市長所信表明



塩谷議長

- ・ 健診施設等建設事業は、実施設計に着手。
- ・ 城内診療所は、水曜日の午前午後、金曜日の午前に診療。
- ・ 国の「子育て世帯生活支援特別給付金」5万円を該当者に支給。
- ・ 低所得の「子育て世帯を支援する給付金」5万円該当者に支給。
- ・ 全ての小中学校に、学校運営協議会制度を導入。
- ・ 中学生海外派遣事業(ニューヨーク)に12名と高校生8名派遣。
- ・ 統合給食センターの建設は、入札の広告を行い、事業者を決定。
- ・ 市文化財である、毘沙門堂楼門の天井画修復が終わる。
- ・ 市立図書館が、文部科学大臣表彰を受ける。
- ・ 新浦佐大橋(仮称)の、橋梁下部工事が順調に進んでいる。
- ・ 9月の水道料金改定に向けて作業を進めている。
- ・ チャレンジ支援事業補助金(松井基金)6名を決定。
- ・ 令和4年度ふるさと納税、寄付件数162,844件、
寄付額50億8391万2千円。前年度を大きく上回る。

★ 一般質問 (6月15日)

● 浦佐川西都市計画道路

今秋にも廃止・見直しをせよ！

昭和46年、浦佐駅が新幹線停車駅に決定。1万5千人の大和町の人口が3万人になると想定した、大和町都市計画が決定。

新幹線は昭和57年開業。同年に北里保健衛生専門学院、翌58年に国際大学が開校。

平成16年の3町合併にあたり、浦佐地区では、大和町長に、ほとんどの路線の廃止、見直しを答申したが、南魚沼市の都市計画にそれらが反映されていない。

市長の考えを伺う。

市長答弁

浦佐地区については、より具体的な検討が必要という事で保留になっていたが、地元要望も強く平成2年度から県と検討を進めており、地元要望に沿った形で、早く見直しになるよう進めている。

● 景観計画策定の

基本的な考えやスケジュールは

平成20年3月に新潟県で5番目に南魚沼市は「景観行政団体」になり、景観を大切にしたい、まちづくりが進むと期待していたが、景観計画が策定されなく、数回この問題を取り上げ市長に問うた。

ようやく、昨年9月に景観計画策定委員会設置要綱を定める。本年度の当初予算で319万円計上しており、景観計画策定の基本的な考えやスケジュールを伺う。

市長答弁

市の最大の資源である豊かな自然環境、暮らしや文化を保全・継承し、自然を活用した観光産業を発展させるため、環境と調和した美しい町づくりを目指す。

建築には一定の規制がかかる。有識者を交えた委員会は2回ほど開催し、令和5年度末を目標に策定をすすめる。

●「学園都市構想」の再構築を

来年4月、北里大学9番目の学部として「健康科各部」が新潟キャンパスとしてスタートする。魚沼初の4年制大学。南魚沼市の総合計画に「学園都市」と言う文言が無いが……。

太田市の群馬国際アカデミー(小中全て英語教育)のことについては現在どのように考えているか。併せて、国際大学の同窓生が、グローバルスクールの設立を提案する。人口減少や医師不足対策にもなるのでは……。

市長の見解を伺う。

市長答弁

平成20年には北里研究所と平成28年には国際大学と連携協定を結び、旧大和町の「学園都市構想」は市内全域に広がっている。

市長になり、一番最初に訪問(医師不足解消のため)したところが、太田市でした。

新たな学院の思い・夢は捨てていない。今は検討していないが、そういう動きは歓迎……。

●只見線の浦佐駅発着を

推進する組織をつくれ

南魚沼市は、湯沢駅を核とした観光の発信、交流人口の増加を図ってきた。

関東方面でない新たな交流人口の流れを作る。浦佐駅から八海山、六日町温泉に。そして、これを期に浦佐駅が尾瀬への玄関口として、PRし、新たな交流人口の増加につなげる。

只見沿線町村も、只見線が浦佐駅に乗り入れることは、上越新幹線とのアクセスが向上し、関東圏からの誘客に繋がる。

只見線浦佐駅発着を推進する組織・魚沼市や福島県の市町村と一緒に「推進する期成同盟会」等を組織することが、必要と思うが市長の見解を伺う。

市長答弁

魚沼市は平成28年度から、南魚沼市は令和元年度から、JR東日本新潟支社に要望している。

地元の熱意が大切で、地元から浦佐駅発着を推進する組織ができることが大切だ。

●「合併20周年記念事業」について

来年は合併20年。記念事業について、庁内で検討協議を進めていることと思うが、その内容について伺う。

そして、兼続公まつりを一新し、南魚沼市のまつりに育てる。具体的には上越の「謙信公まつり」と同時開催する等々。

市長答弁

記念誌の発行、市の発展に尽くした人の功績をたたえる。旧3町の東京・首都圏の会を3町合同で南魚沼市で行うとか、音楽フェスティバルはどうか。これから庁舎内で詰めていく。

合併20年事業に間に合わなくても「兼続公まつり」検討の余地はある。

主な活動フォト



6.3 中国大使館・農業視察に



6.23 NPO湯沢砂防総会



7.2 南魚沼市防災訓練・町内避難



7.16 浦佐夏まつり



7.20 二市一町議会議員協議会総会



7.23 第12回生ビール& 鮎まつり

主な活動日誌

★自由民主党新潟県連大会(5月20日)

会場の ANA クラウンプラザホテル新潟に県内から党員が集まる。

7月衆議院解散がささやかれる中、来賓席には緊張した新区割りの支部長(衆議院議員)が並ぶ。

まさに、G7広島サミットの開会中で、ウクライナのゼレンスキー大統領をはじめグローバルサウスと呼ばれる新興国途上国からインド、ブラジルが、招待した韓国、オーストラリアが来る。まさに自民党でなければならない。

高鳥県連会長の挨拶に続き、自民党本部から萩生田政務調査会長が挨拶。



★毘沙門堂楼門天井画修復記念事業実行委員会総会(7月7日)

午後4時から普光寺にて2回目の実行委員会を開催。記念事業として、下記の事業を行う

- ・企画展示会を池田記念美術館で4.22～5.28まで開催。入込数は美術館で最高の2700人が訪れる。
 - ・記念講演会は、「さわらび」で4月29日、講師は瀬谷先生と松岡先生。入場者は101人。
 - ・図録刊行～2千部
 - ・毘沙門堂楼門2階見学会、展示会の期間の日曜日5回442人。
- 実行委員長の岡村教育長の挨拶の後、収支が報告され、盛会に終わった事業を振り返る。



★総務文教委員会管外行政視察(7月11日、12日)

<1日目>

藤枝市は、静岡県の中心に位置し、人口14万人。藤枝市を一言で言い表すと「ほどよく都会、ほどよく田舎」

「調査事項」

スマート・コンパクトシティを目指す～デジタル化の推進

<2日目>

瀬戸市は人口12万8千人。1千年の歴史を育んできた瀬戸は「せともの」の町。瀬戸に暮らす多くの人が、ツクリテ、ツカイテ、ツナギテとして一緒にまちをつくらせている「陶都」

「調査事項」

小中一貫校と小中一貫教育について



★富山市議会議員農業視察に来市(7月26日)

- 視察1 (有) ウラコウ
 - 視察2 JA「八色西瓜選果場」
 - 視察3 (株) 越後ワイン・アグリコア
 - 視察4 (有) 小澤農場
 - 視察5 八色しいたけパックセンター
- 18時から意見交換会開催
翌日は、小千谷の錦鯉を視察



編集後記

- 9月9日「憲法改正」県民集会、入場チケットあります。関常幸までご連絡ください。
- 特産・八色西瓜収穫生成期、スイカにかぶりつき、暑い夏を乗り切ろう！
- 夏休み、子供の声の外から聞こえてきます。自転車、飛び出し等々、交通安全に気を付けましょう！

内閣総理大臣賞受賞「小沢農場」